

## 運営推進会議開催報告書

下記事業所について、次のとおり運営推進会議を開催したことを報告します。

## 1. 基本情報

事業所名	看護小規模多機能施設 のぞみ		
サービス種別	看護小規模多機能型居宅介護		
所在地	横浜市港北区日吉本町6-66-3		
担当者	山田 智奈	連絡先	045-560-6312
運営法人	株式会社 ゆい		

## 2. 開催日時・場所

日時	令和6年9月25日 15時30分 ~ 15時45分	場所	オンライン開催
----	---------------------------	----	---------

## 3. 出席者

氏名	分野	備考(所属・従事経験など)
■■■■■	利用者又は利用者の家族	
■■■■■	地域住民の代表者	日吉本町西地区 民生委員・児童委員
■■■■■	地域住民の代表者	高田地区 民生委員・児童委員
■■■■■	地域住民の代表者	高田地区 民生委員・児童委員
■■■■■	地域住民の代表者	高田地区 民生委員・児童委員
■■■■■	当該サービスに知見を有する者	■■■■■ 医師
■■■■■	当該サービスに知見を有する者	■■■■■ 歯科医師
■■■■■	当該サービスに知見を有する者	■■■■■ 看護師
■■■■■	当該サービスに知見を有する者	■■■■■ 看護師
■■■■■	当該サービスに知見を有する者	■■■■■ 薬剤師
■■■■■	当該サービスに知見を有する者	■■■■■ 薬剤師
■■■■■	市の職員又は地域包括支援センターの職員	下田地域ケアプラザ ■■■■■
■■■■■	市の職員又は地域包括支援センターの職員	高田地域ケアプラザ ■■■■■
■■■■■	市の職員又は地域包括支援センターの職員	日吉本町地域ケアプラザ ■■■■■

## 4. 活動状況報告

別紙(様式3)のとおり
-------------

(裏面あり)

## 5. 活動状況に関する評価・意見・要望

### 1. 事故について

- ①包括： 事故報告の仕方。運営推進会議で口頭での発表について行政報告を絞ったのは何故か。
- ②薬剤師：新しい職員に対して、自分たち薬局もそうだが、段取りをきちっと正確に伝えて間違えのないような形を繰り返しやっていくことが、1件でも事故やヒヤリハットを減らしていくためには必要だと思う。
- ③医師： ヒヤリハットを出すことは大事。ヒヤリハットについて検討することも大事。しかし、インシデントが(結局)アクシデントになっているケースもあると感じられる。もう少し真剣に取り組まないと責任問題になる。意識レベルを高めないとダメという印象。専門家の先生の意見もしっかり聞いて、対応を一緒に考えていただきたい。

### 2. 地域との関わりについて

民生委員：盆祭りに参加されていることを知らなかった。知っていれば皆さんとお話できたと思うと残念。

## 6. 評価・意見・要望に対する考え・取組

### 1. 事故について

- (1) 報告の仕方： 委員の方から意見をいただく時間を十分取りたい。報告書自体の記載を分かりやすくすることで補うようにした。また、怪我やすべての事故を防ぎえないことを踏まえて、重要と思われるものに絞って発表し、皆さんの意見を求めるようにしていく。
- (2) 事故を減らす取り組み：
  - ・新任者への対応(②の意見)：  
本社オリエンテーション後、現場オリエンテーションを実施している。  
オリエンテーションやOJTについての問題点がないか、具体的に検討できるようにしていく。
  - ・職員の事故に対する意識レベルの問題(③の意見)：  
今年度9月から、職員への1対1研修で「福祉サービスにおけるリスクマネジメント」(全3回)を実施している。 個々のレベルに応じた研修で職員の意識改革を目指す。
  - ・専門家を巻き込んだ事故防止の検討(③の意見)：  
毎月事故防止委員会を社内内で実施しているが、誤薬に絞って薬剤師の方の意見をいただくなどの取り組みについても検討する。

### 2. 地域との関わりについて

- ・施設を知ってくださっている方も多くなっており、今後も地域へ出かけての活動を行っていく。

## 7. 地域からの情報提供

特になし

## 8. その他特記事項

- ・薬の不足について(歯科医師より質問)： 施設等で必要な薬がないようなことがあるか。  
⇒(薬剤師)薬によっては足りていない物もあるが、薬の状況については薬局で把握しており、医師に処方の変更をお願いする形で対応。場合により他の薬局を紹介することもあるが、完全にどこからも入ってこないということはないのでご相談いただきたい。
- ・地域の方より(看護)小規模多機能施設とグループホームの違いについて質問あり。説明を行った。
- ・看護小規模多機能型居宅介護施設は、地域の相談窓口として機能することで加算の対象となる。地域の方から相談があった場合の窓口となるように努める。

※ 会議は原則事業所内で行ってください。  
やむを得ず他の場所で開催する場合、必要に応じて事業所内の見学を行ってください。

## 活動状況報告書(小規模多機能型居宅介護・看護小規模多機能型居宅介護)

## 1. 基本情報

事業所名	看護小規模多機能施設 のぞみ		
所在地	横浜市港北区日吉本町6-66-3		
担当者	山田 智奈	連絡先	045-560-6312
運営法人	株式会社 ゆい		

## 2. 登録者の状況

登録者数( 8月 31日現在)	女性 15 名	男性 10 名	計 25名
-----------------	---------	---------	-------

要介護度(平均3.7)	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
	名	名	1名	4名	4名	6名	10名

## 3. サービス提供回数(会議開催の前月分)

登録者 (匿名)	通い	泊まり	訪問	備考(入所日、退所日など)
ア	23	20	9	
イ	25	1	0	
ウ	31	0	0	
エ	13	4	17	
オ	30	31	2	特養入居待機中
カ	26	31	2	
キ	15	14	30	
ク	13	0	43	
ケ	18	0	48	
コ	21	0	0	
サ	9	0	0	
シ	24	4	40	
ス	28	28	12	
セ	0	0	5	看護師による定期的な訪問対応
ソ	12	0	3	8/23 ご自宅で転倒し救急搬送ご入院
タ	2	0	5	
チ	9	0	0	
ツ	22	14	17	
テ	13	0	33	
ト	24	0	72	
ナ	29	31	4	ご自宅で過ごす時間を少しずつチャレンジ中
ニ	0	0	1	8/2 体調不良にて入院
ヌ	3	0	4	8/14 サービス介入スムーズに行えた為、小規模めぐみへ移動
ネ	17	0	34	
ノ	13	13	2	8/19 病院より紹介
ハ				
ヒ				
フ				
ヘ				
平均	16.8	7.6	15.3	

#### 4. 運営方針

<p>事業所の目標</p>	<p>事業所の理念： その人らしく生きる～その一瞬を大切に～ 今年度目標： 「その人らしく生きる」を支え寄り添う介護を行う</p>
<p>目標に向けた 具体的取組</p>	<p>【事業所のしつらえ・環境】 ・利用者様が何かやってみたくと思える環境づくり 【事業所と地域のかかわり】 ・地域と関わる機会を設ける(地域の行事に参加) ・地域の方へのぞみを知って頂ける機会を設ける 【業務・職員について】 ・働きやすい環境づくり、業務効率化に向けてICTを活用 ・スタッフの一人ひとりの得意を伸ばしていく支援</p>

#### 5. 活動報告

<p>○社内研修 ジョブモデルアカデミー(eラーニング) 7月・・・「身体拘束の排除・高齢者虐待に関する研修」 8月・・・「介護現場で気をつけたいプライバシー保護」</p> <p>○社外研修 7月19日 高田地域ケアプラザ 高齢者虐待に関する研修 職員2名参加 7月24日 市進ホールディングス介護合同管理者研修 管理者1名参加 7月30日 対人援助技術研修 職員2名参加</p> <p>○行事 6月 クレープづくり 7月 日吉本町西町内会納涼祭 8月 のぞみ夏祭り</p> <p>※フラワーアレンジメント・・・毎週第1土曜日 希望者のみ ※エッセンパン屋の移動販売</p>
---

#### 6. 事故・ヒヤリハット報告

<p>内容</p>	<p>事故 7件(行政報告 2件)</p> <p>①打撲 6月8日(5:00)便失禁の為、排泄介助をベット上にて実施中。その際に左側臥位にて臀部を拭いていた所、左へ大きく体動ありそのまま左側のベット柵に額をぶつけてしまった。眉上に2×1cmの腫れができる。</p> <p>②転倒 6月22日(17:45)玄関よりドスンと音がして急いで行くと、うつぶせの状態で見えている利用者を見発見。意識レベル問題ないが、顔面打撲、上口唇裂傷、右手首5×5cmの表皮剥離、鼻出血、義歯破損みられ救急搬送する。</p> <p>③誤薬 7月26日(17:40)夜勤のスタッフがA様の内服を投与しようとする内服薬がないことに気づく。B様にA様の薬を投与してしまったことに気づく。主治医へ報告、夜間帯の血圧変動の経過観察、翌朝の血圧の薬減量指示あり。</p> <p>④転落 8月3日(2:30)夜間居室よりもの音がして訪室すると、オムツを脱いだ状態で床に座っていた。</p> <p>⑤転倒 8月17日(8:40)排泄後トイレにてしりもちをついている所を見発見する。背中に2ヶ所(1cm、2cm)擦り傷あり。</p> <p>⑥表皮剥離 8月17日(11:20)来所時に左前腕に4cmの裂傷を確認。利用者に尋ねると、車を降りる時にスライドドアにあたったとの事。</p> <p>⑦転倒 9月3日(7:50)訪室時額が赤い為、どうしたのか？と問うと床を指差し「そこで転んだ」といわれる。</p> <p>ヒヤリハット 30件</p> <p>①転倒のリスク 10件 ②転落のリスク 5件 ③異食のリスク 2件 ④誤嚥のリスク 7件 ⑤ケガのリスク 4件 ⑥その他 2件・・・コードがつぶれており断線をしている 他利用者の肌着を着ている</p>
-----------	---

改善策	<p><b>事故</b></p> <p>①【原因】 左側の柵の前にクッションを置かずにケアをしてしまった。排便があり慌ててしまった。排便があるときはいつもより体動が大きくなる傾向がある。シーツまで便汚染があった。</p> <p>【対策】 柵の横にクッションを置くという決められた対応を行う。落ち着いてケアを行う。以前使用していた介護シートの使用を再度検討する</p> <p>②【原因】 夜勤者は台所で片付けをしており、利用者が玄関に行くことに気づかなかった。歩く速度がはやく、せっかちな性格で、歩行が不安定である。帰宅時間を伝えていたが、正確に伝わっていなかった可能性もある。</p> <p>【対策】 利用者の見守りができる範囲で仕事をする。優先順位を確認する。スタッフの近い席に移動してもらう。帰宅時間はホワイトボードに書く。</p> <p>③【原因】 思い込みで薬をとってしまった。服薬前に声出し確認を怠った。多忙で注意散漫となっていた。新規の方が重なり、名前と顔の認識があいまいであった。</p> <p>【対策】 決められている服薬手順を再度徹底をする。</p> <p>④【原因】 他の利用者対応中ですぐに気づけなかった。床センサーを使用していなかった。コールボタンが近くなかった。</p> <p>【対策】 新規の方はいつも以上に巡視する。気を使うかたなので、都度声掛けをしていく。</p> <p>⑤【原因】 トイレに誘導した後に、その場を離れた後他のスタッフに声掛けをしなかった。その日の朝は落ち着かない様子がみられていた。掃除の時間であった為、スタッフ皆掃除に意識が向いていた。</p> <p>【対策】 利用者さまのそばを離れる際には他のスタッフに声掛けを行い、皆で意識ができるようにする。普段と様子が違い、落ち着かない時はそばについて見守りをする。掃除の時間であっても常に利用者の行動には注意を向ける。</p> <p>⑥【原因】 今まで何度か一人でスライドドアを開け、車から降りようとする事があったが、その事に対して対策が立てられていなかった。運転手それぞれで、利用者の乗せる位置が違っていった。(情報共有ができていない)。せっかちな性格で、到着するとすぐに降りようとする。難聴があるため声が届きにくく、指示が伝わりにくいことがある。車を止める場所によっては傾斜がある為、スライドドアが開ききっていないと、自然に閉まることがある。</p> <p>【対策】 危険に感じた事や行動に関しては情報共有を行い、つど対策をたてていく。利用者それぞれの座る位置は話し合い、共有していく。チャイルドロックを使用する。</p> <p>⑦【原因】 頻回に鳴るため、センサーマットを離して置いていた。その日は落ち着きなく居室内を徘徊していた。ドアをしめたままにしていた。</p> <p>【対策】 センサーマットを使用しないときは見守りができるようにドアを開ける。一人でも見守りができるように小フロアにて食事を提供する。</p>
-----	---

## 7. 地域への情報提供

7月7日職員1名が町内会の公園清掃に参加させていただきました。

【第2回運営推進会議】

7月22日に消防訓練を兼ねて行いました。

【小さな夏祭り】

8月4日、18日の日曜日に子供向けにスーパーボウルすくいイベントを開催しました。

【掲示板設置予定】

施設のイベント案内や、紹介をしていく予定。発注しているが遅延で届かず。届き次第設置予定。

## 8. その他特記事項

特になし